

ミートインミト
Meet in Mito
～水戸で輝く人に会いに行く～

まちを形づくるのは、風景だけではなく、そこに暮らす人の力です。この連載では、市内で活躍する方の姿をとおして、地域の魅力と未来へのヒントを探ります。

問合せ ▶みとの魅力発信課 (☎232-9107)

03 内原のまちを支えて
～内閣総理大臣賞を受賞したパトロール隊～
堀江 清彦 さん

地域を見守る

内原地区会では多様な地域活動が行われており、その中でも代表的な取組が、地域を見守る内原地区自警団グリーンパトロール隊です。内原地区の発展に伴って人口が増加し、見守り活動の必要性を感じたことから、久保田圀男隊長を中心に地区会のメンバーが立ち上げ、堀江さんも退職を機に参加しました。

パトロール隊は週に数回、朝夕の通学路での立哨や住宅街の巡回などを行っています。「ただ歩くだけではなく、地域の方との挨拶が大切。顔を知ってもらうことで安心感にもつながります」と堀江さんは話します。

21年間の活動の中で、特に心に残っ



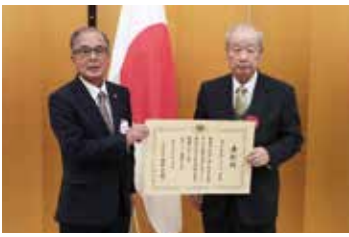
ている出来事を尋ねると「小学校を卒業した子が、中学校の制服姿で『いつも見守ってくれてありがとう』とわざわざ挨拶に来てくれたことです。あの時は本当にうれしかったですね。続けてきてよかったと思えました」と、堀江さんはうれしそうに振り返ります。地域のこどもたちの成長を見守ってきた堀江さんならではの温かいエピソードです。

評価された活動

パトロール隊の活動は見守りにとどまらず、小学校に入学したてのこどもに付き添い登校や、水戸警察署と連携して研修会を開くなど、10項目以上に広がっています。こうした長年の取組が評価され、令和7年には「安全安心なまちづくり関係功労者賞」の最高名誉である内閣総理大臣賞を受賞しました。「これまでの活動が認められ



立哨の様子



首相官邸で高市総理から内閣総理大臣賞を受賞 (左)堀江さん、(右)久保田圀男さん

た感激は忘れられません。今後の課題は、活動を引き継いでくれる仲間づくりです」と、次世代へ活動をつなぐ思いにもじみまします。

地域を支える

堀江さんは、内原地区自治連合会の会長としての役割も担っています。「地区活動の醍醐味は、地域を良くしたいと思うさまざまな人と出会う事」と語る堀江さん。そんな仲間とともに、学校に向いて昔のあそび教室を行ったり、イベントに参加したりして、地域の方とも強く結びついています。

堀江さんは「地区活動では、普段から地域の方とのつながりを作っておくことが大事です。そのようなつながりが、地域と行政の橋渡しをスムーズにします」と地区活動の秘訣を教えてくださいました。

毎週決まった日に、市民センターで地区会の活動も行っており、行政や住民が相談しやすい体制も整えています。パトロール隊として、地区会長として、堀江さんは、これからも地域を支えます。



内原市民センターでの地区活動